

国際資産評価士 (事業価値評価) 養成プログラム

国際的に認知される資格取得に必要な事業価値評価の手法と実務、ならびにその理論的背景を体系的かつ専門的に学ぶプログラム

2026年9月4日(金) 開講

本プログラムの特長



ASA(米国鑑定士協会)
資格申請に必要な講義
履修要件を充足

国際的に認知される資格取得を目指せます



オンライン講義+
日本語ファシリテーション
+対面ディスカッション

理解を深め、実務に活かせる学習環境



事業価値評価・M&A
支援・企業再生支援
の実務に活かせる

実務領域で活躍できる知識とスキルを習得

こんな方に
おすすめ

- ☑ 事業価値評価、M&A支援、企業再生支援、企業経営分析等の専門職を目指す方
- ☑ 不動産鑑定士等として鑑定業務に従事されている方
- ☑ 事業価値評価に関わるビジネスに関心のある方

出願資格
出願書類

- ☑ 大学卒業者または同等以上の学力がある22歳以上の方 ※願書・推薦書提出必須
- ☑ 願書/履歴書/志望動機・修了後計画調書/最終学歴証明書類/推薦書

¥

受講料

66万円(税込)



学生(社会人含)
京都大学経営管理
大学院修了生

33万円(税込)



募集定員

※受講者数が募集定員に満た
ない場合、プログラムの実施
を見送る場合がございます。

15名程度



応募締切
2026年

8月24日(月)

募集要項・出願書類はこちら

下記URLより募集要項と出願書類をダウンロードし、出願書類一式を事務局までメール添付送信してください。

<https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/Uvp6Q2eWVz828uPkBqv84OFYHfWKnT4BFd9OE6BIRIhN>

応募先: bvep_office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

問合せ先: 京都大学経営管理大学院 国際資産評価士(事業価値評価)養成プログラム運営事務局

T E L : 075-753-3543 (平日9:30-16:30、土・日・祝日・年末年始を除く)

主催: 京都大学経営管理大学院

協力: 一般社団法人 日本資産評価士協会、一般社団法人 京都ビジネスリサーチセンター

募集要項・出願書類は
QRコードまたはURLから



月日	プログラム	形式	概要
9月4日 金	開講式	オンライン	受講オリエンテーション
9月7日 月	事業価値評価概論	オンライン	事業価値評価の理論と原則、会計情報活用法、国際基準/評価書作成概論等
9月8日 火			
9月14日 月	講義	オンライン	事業価値入門/マーケットアプローチ
9月24日 木	コースⅠ BV201		事業価値評価の概要・基礎理論、取引事例法の実務等
9月26日 土	理論/事例研究		
9月28日 月	演習	対面（東京）	
10月3日 土	修了試験	対面（東京）	
10月13日 火			
10月19日 月	講義	オンライン	事業評価入門
10月26日 月	コースⅡ BV202		収益法、DCF法を中心とした収益還元法による事業価値評価実務の習得等
10月31日 土	理論/事例研究		
11月4日 水	演習		
11月14日 土	修了試験	対面（東京）	
11月24日 火			
12月1日 火	講義	オンライン	積算（アセットアプローチ）による評価、割引及びプレミアム
12月7日 月	コースⅢ BV203		企業の保有する種々の資産価値の積算による事業価値評価手法（アセットアプローチ）の実務の習得
12月12日 土	理論/事例研究		
12月14日 月	演習		
12月19日 土	修了試験	対面（東京）	
1月18日 月			
1月25日 月	講義	オンライン	事業価値評価における上級トピック
2月2日 火	コースⅣ BV204		事業価値評価が使用される種々の目的の理解、無形資産、エクイティ、評価報告書の作成等
2月6日 土	理論/事例研究		
2月12日 金	演習	対面（京都）	
2月20日 土	修了試験	対面（東京）	
3月1日 月	実務演習	オンライン	演習課題の説明及び演習実習及び成果発表、討論
3月5日 金			
3月11日 木	事業価値評価及びそのノウハウの応用事例	オンライン	海外における事業価値評価の市場及び応用事例
3月12日 金			
3月15日 月	修了式	オンライン	

注記 ・日程は教員・教材準備等の都合により変更される場合があります。
 ・都合によりやむを得ず欠席する受講者へは、録画ビデオの視聴による履修を認める場合があります。
 ・修了試験は東京都内の会場で行いますが、受講者の利便性を考慮し、併せて京都市内でも行う場合があります。

担当教員・運営体制

プログラム統括責任者
大庭 哲治
 京都大学大学院 経営管理研究部/工学研究科教授

ファシリテーター
若山 和夫
 京都大学大学院 経営管理教育部講師（非常勤）
 一般社団法人 日本資産評価士協会 専務代表理事

教材監修者
Raymond Rath
 ASA（米国鑑定士協会）上級認定資産評価士

プログラム運営委員会委員

委員長
大庭 哲治
 京都大学大学院 経営管理研究部/工学研究科教授

委員
小林 潔司
 京都大学大学院 経営管理研究部 特任教授
 京都大学 名誉教授

村上 啓二
 京都大学大学院 経営管理研究部 特別教授

藤木 修
 京都大学大学院 経営管理研究部 客員教授

若山 和夫
 京都大学大学院 経営管理教育部講師（非常勤）
 一般社団法人 日本資産評価士協会 専務代表理事

村尾 俊道
 一般社団法人 京都ビジネスリサーチセンター 事務局長

協力団体

一般社団法人 日本資産評価士協会（JaSIA）
 一般社団法人 京都ビジネスリサーチセンター（KBRC）

概要

講義・演習・修了試験

米国鑑定士協会(ASA)の教材を日本語化した4つのコースのオンライン講義と演習により、事業価値評価の方法論を習得します。各コースで修了試験が行われ、全コースの合格者はASAの資格取得を申請できます。

理論・事例研究

ASAの講義で使用されている教材とは別に、その教材の背景となっている経済・経営理論ならびに国内外の事業価値評価事例を解説した教材を用いて授業を行います。

実務演習

4つのコースで学んだ知識とともに、演習課題に対する事業価値評価分析に取組みます。評価書作成のための実務プロセスをオンラインのグループディスカッション形式で実践的に学びます。

事業価値評価およびそのノウハウの応用事例

海外における事業価値評価の市場環境や応用事例を学び、評価技術が実務でどのように活用されているかを理解します。

国際資産評価士（事業価値評価）養成プログラムについては、下記URLからアクセスできる京都大学経営管理大学院のウェブページもご参照ください。
<https://www.gsm.kyoto-u.ac.jp/collaborative-research/bvep/>

本プログラムの主な教材は、米国鑑定財団（The Appraisal Foundation）および国際評価基準審議会（IVSC: International Valuation Standards Council）が提唱する資格認定教育基準に基づき米国鑑定士協会（ASA: American Society of Appraisers）が国際的に提供する事業価値評価（Business Valuation）の資格認定教育プログラムの教材を、ASAの日本における代表機関である一般社団法人日本資産評価士協会（JaSIA: Japanese Society of Independent Appraisers）との提携により、日本語で提供するものです。本プログラムには、JaSIAが日本語で監修・実施する修了試験（各コース3時間）の受験が組み込まれています。全コースの修了試験に合格した方はASAの規定に従い、ASA国際資産評価士（事業価値評価）の資格取得を申請することができます。

ASAの資格取得要件に関するお問合せは下記窓口までお願いいたします。

【お問合せ窓口】一般社団法人 日本資産評価士協会 TEL: 03-5350-8808 E-mail: info@jasia-asa.org

JaSIA 一般社団法人 日本資産評価士協会
 JAPANESE SOCIETY OF INDEPENDENT APPRAISERS